



【本校の教育目標】

ふるさとを愛し、自ら学び、心豊かに、たくましく生きる児童の育成
～やる気・気づき・根気・絆をはぐくむ安久ならではの教育～

「一歩前進」 安久小学校便り

平成31年
2月12日発行

捜しています！

～御協力をお願いします。～

平成30年度の学校文集「やっさ」第45号の原稿が揃い、本年度の発行の準備が整いました。そこで、この文集「やっさ」の歴史を調べてみました。すると、平成49年度の第24代校長である市園辰夫氏のときに始められたようです。ところが、校長室や図書室を捜しても、第1号から第6号までが見あたりません。第7号からは、本校の司書補の辻慶子氏によって、図書室で大切に保管されていました。当時(昭和49年度から54年度まで)の在校生で、第1号から第6号までの学校文集「やっさ」をお持ちの保護者の方や地域の方がいらっしゃいましたら、是非、本校へ寄贈していただけないでしょうか。(原本を学校でコピーさせていただいても構いません。)

もう一つお願いがあります。本校の西門横に、校舎改築記念碑があります。これは、中郷地区社会福祉協議会会長の安藤高幸氏の設計によるものですが、記念碑の周りの芝が衰え、雑草が茂るようになってきました。そこで、この芝の張り替えとして、芝桜(ピンク)を敷き詰めたいと考えています。保護者や地域の方で、御家庭に芝桜(ピンク)の苗をお持ちの方は、是非、本校へ御提供いただけないでしょうか。よろしくお願いたします。連絡(TEL.39-0704)をお待ちしています。【絆】



中郷保育園児との交流



1月24日(金)、第1学年児童と来年、本校に入学する中郷保育園児との交流がありました。中郷保育園からの入学予定者は4名ですが、あいにく1名の園児が病欠のため、3名が来校しました。保育士の方も2名引率で来ていただきました。園児は最初、緊張している感じでしたが、1年生が優しくエスコートすると【気づき】次第に明るく元気に交流していました。交流後は、第1学年の児童と一緒に給食をおいしそうに食べていました。次は、安久幼稚園の園児が来校して、交流をする予定です。入学するまでに、少しでも小学校の雰囲気慣れさせ、小一ギャップの解消の一助となればと考えています。【絆】



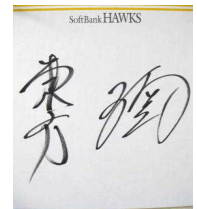
ホークス野球教室

2月1日(金)、第2学年児童を対象にNPO法人ホークスジュニアアカデミー主催の野球教室が、本校の運動場で開催されました。ホークスベースボールスクールコーチで、福岡ソフトバンクOBの河野大樹氏と東方伸友氏が講師として来校し、指導してくださいました。

本事業は、都城市ふるさと産業推進局の募集に応募して決定した事業です。小学校第2学年の児童が対象で、今回は本校と乙房小学校が選ばれました。この野球教室の目的は、ホークスOBと一緒にキャッチボールやティーボールの講習・実技を行い、子どもたちに野球の楽しさを体験させることです。

- まず、2名の講師の方から自己紹介があった後、
- 1 投げる・捕る → 柔らかいボールを使用してのキャッチボール
 - 2 打つ・走る → ティーボールの試合
 - 3 ふれあい → 子どもから講師に対しての質問コーナー

の順に野球教室が進められました。野球少年団に入っている児童もそうでない児童も、目を輝かせながら、元プロ野球選手の指導を熱心に受けていました。途中で、都城市ふるさと産業推進局の堂籠(どうごもり)さんも来校され、取材されていました。



今回、このような機会に恵まれたことに感謝するとともに、将来、この安久小からもスポーツのプロが誕生することを願っています。小学生の頃からいろいろな機会に接し、体験すること。そして、コツコツと努力することが大切です。何事も苦勞なしには、成就しません。【根気】強く、長い年月をかけて努力することが重要です。

「き」を大きく育てていきましょう

- ① 【やる気】 夢をもち、進んで勉強する子ども
- ② 【気づき】 互いに助け合い、尊重し合う子ども
- ③ 【根気】 自ら体を鍛える子ども
- ④ 【絆】 安久を愛する子ども

新入生説明会 新入児入学説明会

2月1日(金)、中郷中学校の新入生説明会が行われました。御多用の中、児童と一緒に参加していただきました保護者の皆様、ありがとうございました。

最初に、**日淺雅道校長**より学校経営についてお話がありました。学校経営ビジョンは、「人としての生き方を学ぶことを根幹に、家庭・地域と連携し、常に学び続ける、心身ともに調和のとれた人間力あふれる生徒の育成を図ります。」ということでした。まさに、時代や社会の要請に応じたビジョンだと考えます。

次に、生徒指導主事の**安楽潤郎教諭**が、学校生活や学校のきまり、登下校の注意点について、また、教務主任の**玉井教広教諭**が、学校行事や生徒会活動、授業等について、詳しく説明してくださいました。第6学年の児童は、真剣に耳を傾けていました。

最後に、授業見学がありました。児童は、授業も興味深そうに見学していました。部活動見学については、インフルエンザ拡散防止のため、後日、計画することでした。



2月5日(火)、平成31年度入学予定の児童と保護者を集めて、説明会を行いました。来年度の入学児童は49名で、2学級の予定です。

最初に、学校経営説明(学校の教育目標や目指す児童像等)と都城市が推進しているフッ化物先口(無料・希望制)について説明しました。特に、以下の3点についてお願いしました。

- 1 挨拶や返事をしっかりさせる。
- 2 自分のことは自分でさせる。
- 3 歩いての登下校の練習をしておく。

次に、現1学年担任より入学までの準備について、養護教諭より学校生活について説明した後、特別支援教育と給食費や校納金等についてお話ししました。

その間、入学予定児童は、第1学年教室で自己紹介をしたり、お絵かきをしたりして過ごしました。いろいろな幼稚園や保育園等に通っているため、初めて出会う入学予定児童たちでしたので、最初は少し緊張気味でしたが、次第に慣れて、楽しくふれ合っていました。入学が楽しみです。



都城大弓を学ぶ

2月5日(火)5・6校時、第4学年児童が、「**伝統工芸一大弓ができるまで**」を社会科で学習しました。これは、国の補助金によって実施される平成30年度児童・生徒に対する伝統的工芸品教育事業の一環で、「**職人さんから伝統工芸品を学ぼう**」という企画です。都城市ふるさと振興局の**岩佐達也氏**(本校出身者:安久町下安久)が担当していただき、本市の伝統工芸である都城大弓の伝統工芸士**横山氏・小倉氏**が来校され、直接、児童へ大弓ができるまでの工程や材料、歴史、工夫や苦勞等について説明していただきました。また、実際に木を削る体験もさせていただきました。その日は、ケーブルTVや宮崎日日新聞社、南日本新聞社も取材に来られました。下に児童の感想を掲載します。



「大弓について」

4年 福山 ●●

ぼくは、大弓のことを体験して、くさびを打ち込むことがすごかったです。どこがすごいかというと、たくさんくさびを打ち込んでぬくときに、大変にならないのかなと思ったからです。

そして、大弓を実際に引いてみる体験では、弓が固くてあまり引けませんでした。

学校で、弓士が4人しかいないと聞いて、たったの4人でこんな大きな弓を作るなんて大変だなと思いました。

ぼくは、こんな体験ができて、とてもうれしいです。

「大弓について」

4年 川迫 ●●

わたしは、一人で13この作業をしていて、すごいなーと思いました。その後の大弓を引く体験の時は、こわくて引けませんでした。

生で作業を見たときは、へえーと思っていたけど、それをさわると、固くて力が入りそうだなーと思いました。

けずる体験は、むずかしくて全ぜんできませんでした。これができるのは、すごいと思いました。

一人前になるまでに10年の意味が、ものすごく分かりました。

いろいろ教えてください、ありがとうございました。

◇ 前回の学校便りでも紹介しましたが、第50回宮日ジュニア展で、**特選**を受賞した第3学年**石窪●●**さんの絵画「にじ色のせかい」を掲載します。

先日、都城市長**池田宜久氏**から、祝電も頂きました。

この絵画は、水彩画特有の色のにじみやぼかしが上手に使われています。

今後、宮崎市での展示会から返却されましたら、本校児童の参考作品として、学校の玄関口にしばらく飾らせていただこうと思っています。



◇ 夏休みに、中郷地区まちづくり協議会が主催した「まちづくりに関する標語」で優秀賞に輝いた本校第6学年の二人の作品が、**のぼり旗**になりました。先日、まちづくり協議会の方が、学校に持って来てくださいました。2月の参観日には、第6学年の教室に、その後は学校の柵に設置したいと思います。**【気づき・絆】**

優秀賞 第6学年 **石原 ●●**さん
「助け合い 人と人との 信頼感」

優秀賞 第6学年 **谷口 ●●**さん
「でんとうを 受けつぐことが 町のじまん」